島根のために　未来のために

Vol.2
2017.1
SBI事務局

SHIMANE BASEBALL INNOVATION

“REAL ENJOY BASEBALL”

ごあいさつ

NPO法人
島根ベースボールイノベーション
設立者　若狭　彰

NPO法人島根ベースボールイノベーションの設立者の若狭彰です。島根県の野球競技の競技力向上と振興を目指して平成二十六年に設立し、平成二十七年三月に法人化しました。お陰様で二年の月日が経ちましたが、島根県内の多くの野球ファンのご理解とご支援をいただきながらここまで活動することができました。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

さて、本格活動から二年目となりました今期の事業は、「ベースボールリーダーズセミナー」「しまね中学生野球力向上事業」「SBIコーチングキャラバン」「野球力測定会事業」「ベースボールテクニックスクール」などそれぞれ活動の大小はありますが、幅広く活動させていただきました。

その中でも、「しまね中学生野球力向上事業」では、第二期生のU15KWB島根県選抜が西日本大会で準優勝、全国大会でベスト8の好成績を収めるなど着実に成果をあげてきています。

また、「SBIコーチングキャラバン」では、島根県内の高校野球部七校、中学野球部五校から指導のご依頼をいただき実施させていただきました。学童野球のカテゴリーにおいても、松江市軟式野球連盟学童部のご後援のもと、学童野球指導者に向けて講習会を実施いたします。

さらに、「野球力測定会事業」では、島根県高等学校野球連盟主催の第十五回島根県高野連合同強化練習会にて、第一回目となる野球力測定会の運営サポートを仰せつかりました。

少しずつではありますが、私たちの活動が島根県内で広まってきています。そのことに感謝の念をもち、責任をもって活動していきたいと思います。そしてこの活動が、島根県野球界のみならず地域の発展に貢献することを目指して邁進してまいります。

平成二十九年度の活動におきましても、皆様方のご支援のほどを宜しくお願い致します。

第一回SBI指導者研修会

平成二十八年一月三十日（土）にサンラポーむらくもにて、第一回島根ベースボールイノベーション指導者研修会を行いました。本研修会のテーマは「THINK TO WIN」というテーマを設定し、学童野球から高校野球までの指導者を対象に実施しました。

はじめに、第一期U15KWB島根県選抜のGM兼監督を務めた島根ベースボールイノベーション設立者の若狭彰が「島根ベースボールイノベーションの取組」について話題提供としてお話させていただきました。

次に、ゲスト講師にお招きしたベースボールコーディネーターの和田照茂氏より、『アナライザーから見た全国を勝ち抜くチームのデータ分析』『野球のゲーム性理解とは』『秘蔵映像から見る頭脳プレーの裏側』という3つのテーマについて詳しくお話ししていただきました。

当日は県内外から約五十名の野球指導者の方々にご参加いただきました。参加指導者の方々の感想は次のようなものでした。

★　何となくとしか考えたことがなかったが、具体的に勝つための野球

として分類されていて、自分の野球観を振り返るきっかけとなった。

★　自分のチームを見つめ直す良い機会となり、監督である私が一番誰よりも頑張らなければならないと改めて感じた。これまでの知識、持論に対してすごく反省する機会となった。

研修会終了後は、講師を囲み参加者で懇親会をしました。カテゴリーを超えて指導者同士で親睦を図る貴重な会になりました。

また、「和田氏の話をもっと聞きたい」というご意見を多数いただいたため、三月末に二日間の日程で、ＳＢＩ指導者研修会アゲインを開催しました。

（左写真上）
島根ベースボールイノベーションの活動内容を説明する若狭彰と会場の様子。
（左写真下）
講師の和田照茂氏と指導者の方々の様子。

【しまね中学生野球力向上事業】
第2回野球力測定会　兼　第2期U-15KWB島根県選抜選手選考会

六月十九日（日）に浜山球場にて、第二回野球力測定会（中学生対象）兼第二期Ｕ１５ＫＷＢ島根県選抜選手選考会（中学３年生対象）が行われました。当日は早朝から、大雨が降り、開催できるか危ぶまれましたが、ボランティアスタッフの皆さんの懸命なグランド整備により、開催することができました。

野球力測定会は①ベースランニング、②スイングスピード、③球速、④メディシンボール投げ、⑤立ち三段跳び、⑥四メートル反復横跳びの六種目を測定し、第二期Ｕ１５ＫＷＢ島根県選抜には六種目の測定順位一位から二〇位の中学三年生が選考されました。

今年から中学一年生から三年生まで参加できるようにしました。自分の現時点での野球に関わる体力を把握するため、島根県選抜に選考されるためなど、向上心のある中学生が総勢四十六名集まりました。参加者は昨年よりも減りましたが、好記録が続々と飛び出し、四種目で島根県中学生最高記録が生まれました。

早朝の雨の影響で湿った土のグランドという、人口芝に比べると劣る環境での測定でしたが、ハンディをもろともせず、次々に記録を更新していく参加選手達に逞しさと可能性を感じました。また、測定会後に自身の野球力を向上してもらうために、「野球のゲーム性（競技特性）を理解する。」という題目で講座も実施しました。

Ｕ１５ＫＷＢ島根県選抜チームの選考方式について

野球力測定会で選考された中学三年生二十名と練習生三名で、第二期Ｕ１５ＫＷＢ島根県選抜チームを結成しました。活動期間は、七月初旬～十一月下旬です。活動目的は、高校野球に向けて、大会や練習を通じて自身の野球力（特に野球のゲーム性理解力、技術力、体力）を向上させることです。

島根県では、多くの中学生が軟式野球を経験しています。高校野球では硬式野球になるため、部活動を終えた三年生が各自の工夫によって高校野球に向けた準備をします。ＫＷＢボールとは軟式球ですが、軟式野球をしてきた中学三年生のために十五年前ほどに開発されたボールです。島根ベースボールイノベーションはこのボールの多くのメリット（硬球と同じ大きさと重さで恐怖感なく取り組めること。軟式球なので硬式対応以外の球場やグランドでプレーできること。十月にハイレベルな全国大会が開催されていること。）に数年前に着目しました。

そして、この県選抜チームの選手選考基準で特徴的な点は、ポジションや中学野球時代の実績を無視した選考方法をしている点です。県選抜単位でチームを結成する都道府県では、このような選考方式はないはずです。異例中の異例かと思われます。そして、通常の選考方法（指導陣でセレクトしたり、各中学校チームから推薦したりする）を否定しているわけではありません。

このような選手選考をすることには理由があります。島根ベースボールイノベーションは、島根県の球児達の一人一人の野球力の向上を狙いとして本事業を実施しています。選考方式を検

討した際に、我々の理念と組織力では、通常の選抜チームの選手選考方式を採ると「公平性」を担保できないと判断したからです。また、中学生の「伸びしろ」や「向上心」を大切にしたいという思いがあるからです。野球のうまさは体力数値だけでは測れず、技術力や知識やゲーム性の理解力も必要となります。ただ単に体力しか数値化できないという単純な考えです。

現に、これまで選考された選手の中には、自チームで下位打線を打っていた選手やベンチを温めていた選手もいました。野球の知識やゲーム性の理解力、技術力の高さは指導者の指導力に依存する部分が大半です。そういった環境に恵まれていない中で向上心のある選手は、基本的に体力を向上させることにしか取り組めない中学野球界の現状があります。また、野球人口の減少で、チーム事情により適正かどうかも分からないポジションを守ってきた選手も多くいます。

野球に関わる体力のみで選手を選考するという方式がベストとは思いませんが、中学球児に対する誠意は示すことができていると感じます。

今後、選手選考方式がどのように変化していくのかは分かりませんが、島根ベースボールイノベーションの理念に基づき、島根県の「希望に満ちた中学球児」や「チャレンジする中学球児」に門徒を大きく開いていきます。

第二期Ｕ１５ＫＷＢ島根県選抜

第二期Ｕ１５ＫＷＢ島根県選抜チームは、出雲市を中心に江津市などで練習を実施し、九月に高知県安芸市で開催された西日本大会、十月に千葉県成田市で開催された全国大会に出場するなど、約三十日間（大会遠征を含む）の活動となりました。大会終了後の活動期間は、硬式ボールを使用して技術練習や、山陰合同銀行野球部とのチャレンジマッチを実施しました。

【活動日】

第一回合宿（八月十一日～十四日）
於：平成スポーツ公園野球場
第二回合宿（八月十九日～二十一日）
於：出雲ドーム、平田中Ｇ
第三回合宿（八月二十七日～二十八日）
於：平成スポーツ公園野球場
第四回合宿（九月十七日～十九日）
於：江津工業高Ｇ、江津中Ｇ
西日本大会（九月二十三日～二十五日）
於：高知県安芸市
全国大会（十月七日～十一日）
於：千葉県成田市等
第五回合宿（十月二十二日～二十三日）
於：平成スポーツ公園野球場
第六回合宿（十月二十九日～三十日）
於：平成スポーツ公園野球場
第七回合宿（十一月五日～六日）
於：平成スポーツ公園野球場
第八回合宿（十一月十九日～二十日）
於：平成スポーツ公園野球場

【チーム運営】

全国大会までは、全選手が「野球のゲーム性」を理解していくために、走塁に徹底的に取り組みました。各塁での基本スキルに加え、走塁での細かな戦術を体現できるようになるまで取り組むことが、守備のスキル向上にも役立つからです。打撃と投手のスキル向上練習については、全国大会以降で取り組みました。

島根県選抜の戦い方の特徴は、全選手に対しチーム内における自分の役割を理解してもらい、頻繁な選手交代をしながらゲームを進めていくことです。守備位置や打順を固定することがほとんどありません。そのために、選手起用における根拠として、各種データの管理が重要になります。ゲーム形式や練習試合における打率や出塁率、奪進塁率などのオフェンスの数値や、投手の投球結果の数値を細かく管理し選手にフィードバックしながら活動を進めました。

【第二期生の活動を振りかえって】

第二期Ｕ１５ＫＷＢ島根県選抜
ＧＭ兼監督　若狭　彰

このチームを率いて二年目になりました。今期の選手たちも、フィジカルが高く、向上心も人一倍強い選手が多くいたという印象があります。選手からは、「挑戦してやろう」と言う心意気を強く感じ、頼もしく感じていました。そして、教わったことを繰り返し練習し、何としてでも習得していこうとする粘り強さに胸を打たれました。一方で、時間にルーズだったり、行儀が悪かったりして、叱ることも多々ありましたが、それも良き思い出です。良い

意味でも悪い意味でもやることなすことが中学生で、彼らとの時間は笑いの絶えない日々でした。

彼らには、「野球のゲーム性を理解すること」の重要性を叩き込んだつもりです。学んだことを次の高校野球でしっかりと生かしてほしいと思います。

また、将来選手生活を終えた時、どのような形ででも、子供たちに野球の本当の楽しさを教えられる人になってほしいと思っています。二期生たちの明るい未来を願っています。

ＳＢＩ　コーチングキャラバン

このＳＢＩコーチングキャラバンは、島根県内の野球チームを対象に、ＳＢＩスタッフがチームに出向き、直接野球の指導を実施する事業です。

平成二十八年四月から事業を開始し、今シーズンは高校野球チーム七校、中学野球チーム五校、学童野球チーム一チームに出張指導を実施しました。

指導内容は各チームのご要望に応じた内容に合わせていますが、「野球のゲーム性（競技特性）を理解する」ことを基本軸に指導させていただいております。選手と指導者の方々にとって、学びの多い時間となることと、確実なレベルアップに繋がることを心がけています。

松江工業高校　（2016. 11. 13）

大田スポーツ少年団
（2016. 11. 26～27）

大東高校　（2016. 12. 24）

松江市橋北地域小規模校５校合同　（2016. 12. 4）

第２期Ｕ１５ＫＷＢ島根県選抜選手（２３名）

背番号	氏　　名	中学校名	位　置	背番号	氏　　名	中学校名	位　置
1	青 木 柊 馬	津和野中	内野手	１３	熊 尾 一 輝	安来一中	外野手
2	田 原 雅 也	益田東中	投　手	１４	三 澤 颯 樹	東出雲中	外野手
3	中 田 壮 碁	日原中	内野手	１５	植 田 創 介	斐川東中	外野手
4	福 原 大 樹	益田東中	捕　手	１６	錦 織 圭 吾	斐川西中	投　手
5	吉 岡 快 清	益田東中	内野手	１７	瀬 尾 基 洋	出雲三中	外野手
6	青 木　　翔	津和野中	投　手	１８	津 田 裕 佑	江津中	投　手
7	石 川 湧 祐	斐川東中	捕　手	２０	金 築 力 矢	平田中	投　手
8	木 村 凌 也	邑智中	捕　手	２１	内 田 聖 也	伯太中	投　手
9	高 橋 昌 伸	斐川西中	内野手	２２	福 間 亮 太	玉湯中	捕　手
１０	山 﨑 大 輝	平田中	内野手	２３	上 田 七 生	津和野中	内野手
１１	谷 川 愛 斗	安来二中	投　手	２４	松 葉 一 樹	西郷南中	外野手
１２	玉 木 亮 河	平田中	外野手				

第５回U-１５西日本ＫＷＢ野球大会（９月２４日・２５日）（高知県安芸市）

【予選Ｂ組・第１試合】

チーム＼回	1	2	3	4	5	6	7	合　計
福 岡 選 抜	0	0	2	0	0	1		3
島根県選抜	0	1	1	0	0	２×		4

（福）田代、白田　―　皿田　　（６回時間切れ）
（島）内田、青木翔、高橋、田原　―　福原
△　二塁打　玉木（島根）

【予選Ｂ組・第２試合】

チーム＼回	1	2	3	4	5	6	7	合　計
愛媛県選抜	0	0	1	0	0	0		1
島根県選抜	3	0	0	1	0	×		4

（愛）松浦、松井　―　小森　　（６回時間切れ）
（島）内田、高橋、津田、田原　―　福原、中田
※　予選Ｂ組の最終成績　①島根県選抜２勝＝決勝トーナメントへ

福岡選抜との試合前挨拶（安芸市営補助グランド）

【決勝トーナメント準決勝】

チーム＼回	1	2	3	4	5	6	合　計
東広島・安芸郡選抜	0	0	0	0	3		3
島根県選抜	0	0	3	0	0		3

（東）沼田、上垣内　―　国山　　（５回時間切れ、特別延長１－０で島根県選抜の勝ち）
（島）錦織、青木翔、高橋、玉木、内田　―　福原
△　三塁打　山﨑、木村（島）　△　二塁打　渡辺（東）木村（島）

【同決勝】

チーム　　回	1	2	3	4	5	6	7	合　計
島根県選抜	0	0	0	0	0	0	0	0
高知県選抜	0	0	0	0	1	0	×	1

（島）田原、内田　―　福原
（高）横田、植田　―　谷山
△三塁打　池田（高）　　△二塁打　横田（高）

準優勝

高知県選抜との記念写真（安芸市営球場）

第１１回U-１５全国ＫＷＢ野球秋季大会（１０月８日～１１日）　（千葉県成田市等）

【１回戦】

チーム　　回	1	2	3	4	5	6	合計
那須Ｋボールクラブ（栃木）	0	0	0	0	0		0
島根県選抜	0	0	0	0	２×		2

（那）常盤　―　加藤　　（５回降雨コールドゲーム）
（島）田原　―　福原

【２回戦】

チーム　　回	1	2	3	4	5	6	7	合　計
島根県選抜	0	0	0	1	0	0	0	1
佐久ﾍﾞｰｽﾎﾞｰﾙｸﾗﾌﾞ（長野）	0	0	0	0	0	0	0	0

（島）津田、高橋、内田、田原　―　福原、中田　（継投・ノーヒットノーランゲーム）
（佐）伊東、窪田　―　吉村

さァー　Ｗ－ＵＰ　開始です。

準々決勝前の選手達

【準々決勝】

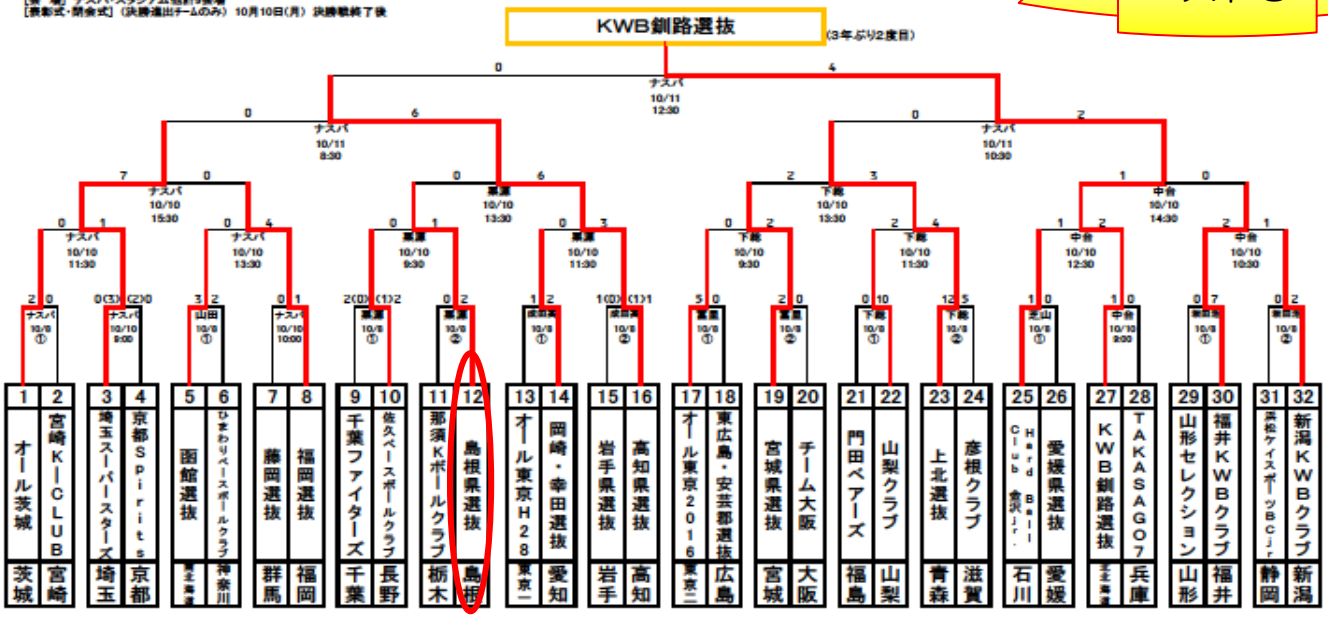
チーム　　回	1	2	3	4	5	6	7	合　計
島根県選抜	0	0	0	0	0	0	0	0
高知県選抜	3	3	0	0	0	0	×	6

（島）津田、高橋、内田、田原、錦織　―　中田、福原
（佐）伊東、窪田　―　吉村
△　二塁打　安田、西村（高）

（千葉県香取市・栗源運動公園広場）

第11回U-15全国KWB野球秋季大会

ベスト８



【第2期 U15KWB島根県選抜チームの解散式】

１１月２０日（日）、ホームグランド（平成スポーツ公園野球場）にて紅白戦を実施、最後まで１点を争うエキサイティングな試合を展開した後、２期生保護者の皆様から寄贈していただいた「のぼり旗」を背にして記念写真撮影を行い、最後に“高校野球でお会いしましょう”を合言葉にお別れとなりました。

【第二期生の感想文】

島根県選抜で学んだこと

主将（平田中）

山﨑　大輝

八月十一日、島根県選抜チームがスタートしました。

第一回目の合宿は、朝から晩までひたすら走塁ドリルを練習しました。その甲斐あって、完璧ではありませんが、体に走塁スキルが身につき、自信が持てるようになりました。また、ほとんど話をしたことがない人の集まりでしたが、打ち解けはじめ、チームとして少しずつ戦える状態になっていくことを感じました。初回合宿の最終日に僕はキャプテンに指名されました。正直迷いましたが、せっかくの機会なので引き受けさせていただきました。

キャプテンとして特別なことはしていませんが、みんなが自立していたため、すごく楽しく活動を行うことができました。

そして迎えた西日本大会。若狭監督の采配、コーチの方々の指示、そして選手の頑張りもあり、準優勝することができました。僕はトーナメントを勝ち進んでいくに連れて、一人ひとりの意識が高まり、チームが一丸となっていくのを感じました。

西日本大会が終わって二週間後、全国大会が行われました。天候が悪く、コンディションが悪い中でしたが、一回戦、二回戦と勝ち進み、準々決勝で西日本大会決勝で破れた高知選抜と対戦し、再び敗れてしまいました。しかし、全国大会でベスト8という結果を残すことができました。

僕はこのチームで勝つ喜びを学びました。なぜか、このチームだと負ける気がしませんでした。この選抜チームは、これから一人一人が、自分の志望校に向けて新たなスタートを切ります。この島根県選抜で学んだことを糧にして、高校でも良きライバルとして互いに頑張っていきたいと思います。

みんなと一緒に野球ができた事、最高の指導者の方々に指導していただいた事、そしてもう一つ忘れてはならない事は、この選抜に参加させてくれた親に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

【保護者の感想】

息子の決断

（津和野町）青木貴志・育世

「オレ、やらんけぇ」。

ネットで島根県選抜選手選考会を知り、彼に聞いた時の言葉です。

「高校で野球するか分からんし」

「背、低いし」

「みんな受けんって言っとるし」

が、頑固に拒否をする理由でした。たった七年ではありますが、彼の野球人生は小学三年生から始まります。スポ少の見学に行った時、監督からキャッチボールをしようと誘われましたが、

「今日は見学に来たんじゃけぇ、せん。来週からするって言っとるろぉ」

と、誰に似たのか頑固に断りました。その後はチーム事情で、ピッチャー、キャッチャー、ファースト、セカンド、サード、ショート、レフト、ライト・・・・、あれ？センターしていない！という状況で、ほとんどのポジションを経験してきました。思うようなプレーが出来ず、勝てないことに思い悩んだ時期もあり、中学三年生の春、高校で野球を続けることを悩んでいました。さらに、小学二年生から姉の影響で続けて

リーズナブルに合宿しませんか？

宿泊料金　一般 2,052 円　高校生以下 1,026 円

（出雲市内の団体の場合、高校生以下は 486 円

その引率者は 1,026 円）

出雲交際交流会館（出雲国際交流プラザ）

〒693-0036 島根県出雲市平成町 2320-1

電話/FAX 0853-21-5588

年末年始休館（受付は９：00～17：00）

＊すぐそばの温泉に宿泊者割引でご入浴いただけます。

＊お弁当など承ります。ご相談ください。

≪宿泊研修棟≫　５名以上ならどなたでも OK!

≪交流棟≫　研修会や会議、パーティなどさまざまなお部屋があります。

小人数でもご利用いただけます。厨房もあり調理可。使用料は１時間 500 円より

感謝 ご縁にいえた 出逢 あなたに

いる陸上クラブの活動で、ランナーとしての道に気持ちが傾いていました。

私たちは、彼が野球を始めてから〝家の塀が友達〟と言われるぐらい、ボールを当てて練習をしたり、バットを振ったりしている姿を見てきているので、好きな野球を中途半端に終わらせようとしているのではないかと感じ、頑固な彼をどう口説いて選考会に参加させようか悩みました。思い悩んでいると、やはり親より、友達の保護者ですね。みんなで話し合い、有志で思い出作りとして参加することに決まり、その誘いにようやく気持ちが動き、選考会に参加することになりました。総勢十三名で前泊して夜遅くまで宴会しました。楽しい思い出のひとつと思っていたので、選抜に選ばれた時は、彼より母親のほうが喜んでしまいました。

選抜に選ばれてからも参加するか悩んでいました。彼の気持ちを察するに、〝選ばれてうれしいが、その中でどれくらい自分が出来るのか不安。親の言いなりに参加するのは嫌。お金がかかる〟と思ったのではないでしょうか。彼には、「一度でいいからレベルの高い、志しも高い子供たちと一緒に活動をして欲しい。自分がどれくらい出来るのか知ってほしい。今までにない経験が出来るからお金の心配はしなくていい。」と私たち夫婦の気持ちを伝えました。

そして、どうにか説得して合宿初日を迎えました。四日間の合宿が終わり感想を聞くと、

「楽しかった！面白い！」

と笑顔で即答したのです。親として参加させて良かった、間違ってなかったと思った瞬間でした。それからの合宿は率先して準備をし、

「〇〇さん（指導者やスタッフの方）が△△と言っとった」

□□（選抜メンバー）が・・・・」

と約三時間の道のりをかけて津和野に帰る車中、よくしゃべること。挙句の果てには教わったことを私たちに問題にして出すようになりました。参加を悩んでいた頃が嘘のように充実した日々を送っていきました。県内の同じような環境で野球をしていた中学三年生が集まった選抜の仲間、思いもそれぞれあると思いますが、彼にとってとても良い刺激となり、すばらしい指導者の方や仲間に巡り合えた事に嬉しく思います。

さて、何度目かの合宿が終わった時、彼から高校で使うグラブを買って欲しいと希望がありました。ＳＢＩならではの野球を教えていただき、自分の長所に自信を持ち、また個性のある仲間に出会い、高校でも野球をしようと決意したのです。体が小さいからと逃げていた彼が大きな決断をし、この選抜を通して野球に対する意識が変わり、成長と自信を感じた時でした。私たちは、子供たちのやりたいことが何かを見つける手助けをし、応援が出来ればと思っています。ですから

フリーバッティング練習
（平成スポーツ公園野球場）

デジタルのことなら

松本デンキ店

安来市安来町１６２２－２

０８５４－２３－１５１５

ハレルヤ
テープ

株式会社
Assist12

島根県安来市安来町

TEL&FAX：0854-33-9020

彼が長所を最大限に活かし野球を続けると決めたことは良かったと思っています。

彼は将来、教師になりたいと考えています。これまではただ漠然と教師になりたいと言っていました。ですが、この選抜に参加して野球の楽しさとＳＢＩで教わったことを、野球部の子供たちへ教えたいと熱く語るようになりました。体が小さい分、これからの野球人生、壁にぶつかることが多くあると思いますが、私たちは彼の夢が叶えられるように応援していきたいと思います。

今回選抜に選ばれたことは、青木家にとって貴重な時間を過ごすことが出来ました。ここでは書きつくせないほどのたくさんの思い出と経験を私たち夫婦も共有出来ました。今後も、ＳＢＩの指導者やスタッフの方々、第二期生の仲間とのご縁を大切に、そして子供たちに掛けていただいた言葉を胸に刻み歩んでいきます。

最後になりましたが、これから別々の道を歩み信じて進む子供たちに大きな幸あれ、そしてＳＢＩのさらなる発展を願っています。

投稿にご協力頂きまして、誠にありがとうございました。（ＳＢＩ事務局）

島根県高野連 第一回野球力測定会

開会式の様子（１）

十二月十八日（日）、出雲ドームにおいて「島根県高野連 第一回野球力測定会」が実施されました。

この事業は、「平成二十八年度第十五回島根県高野連合同強化練習会」の一環で島根県高野連の主催で開催されたもので、島根ベースボールイノベーションは特別協力で測定会の運営サポートをさせていただきました。

県内三十六校の硬式野球部から各校三名ずつの合計百八名が参加し、六種目の競技の測定を行いました。野球に関わる体力を測定し分析をすることで冬場のトレーニングに繋げてもらえるようにと、測定終了後は結果発表に加えて、選手と指導者の皆様に講習も実施しました。

開会式の様子（２）

島根県知事登録第 3-63 号　（社）全国旅行業協会保証社員

有限会社ヤマネツーリスト

代表取締役　山根義人

〒　690-0877
松江市春日町 28-3
ＴＥＬ(0852)-60-0120
ＦＡＸ(0852)-60-0121

YAMANE TOURIST

島根半島沖と隠岐海域での船釣り

遊漁船 登録番号:島根県1281
拓海丸

乗合遊漁船
たく　み　まる
拓　海　丸（松江市八束町）

お問合せ：（わたなべ船長）
０９０－１６８０－１２４８
ホームページ：島根　拓海丸　検索

島根県高野連　第１回野球力測定会の状況

（２塁駆抜け最高記録）
７秒２９

（１塁駆抜け最高記録）
３秒６２

①　ベースランニング

②　スイングスピード

（最高記録：１５９．４ｋｍ/ｈ）

③　球　速

（最高記録：１４０ｋｍ/ｈ）

⑤　立ち三段跳び

（最高記録：８ｍ４１ｃｍ）

④　メディシンボール投げ

（最高記録：１４ｍ５０ｃｍ）

株式会社
健菜厨房

食を通し、「健康と幸せ」をお届けします。
食を通じて社会貢献を念頭に食を提案し続けます。
お惣菜・お弁当、クレープ、レストランは健康第一宣言の健菜厨房

健康第一宣言

〒693-0004
島根県出雲市渡橋町 1227 番地
TEL: 0853-21-5015
FAX: 0853-20-0768
E-mail: info@kensai-chubo.co.jp

⑥　４メートル反復横跳び

（最高記録：１８回）

閉会式の様子（結果発表と測定データの分析方法のレクチャー）

野球力測定会を終えた３６校・１０８人の高校球児（2016.12.18　出雲ドーム）

「ＮＰＯ法人　島根ベースボールイノベーション」は企業・団体・個人の皆様のご支援によって支えられています。

当法人が実施する各種イベント･事業に対するご理解ご協力の程、何卒宜しくお願い致します。

昨年、ご協賛等いただいた企業・団体様　（順不同・敬称略）

㈱島根銀行（松江市）　㈱イワミツアー（益田市）　㈱松工建設（松江市）
中村ブレイス㈱（大田市）　㈱ナカサ（安来市）　スポーツプラザ二協社（出雲市）
㈱京和（松江市）　サンラポーむらくも（松江市）

【寄付金等の振込先】　（詳細につきましては、下記ホームページをご覧下さい。）

金融機関名	山陰合同銀行	島根銀行	ゆうちょ銀行
店　　名	本店営業部	松江駅前支店	
店　　番	001	202	538
口座番号	3734722	0341886	0896931　普通預金
名　　称	NPO法人島根ベースボールイノベーション		ﾄｸﾋﾞ)ｼﾏﾈﾍﾞｰｽﾎﾞｰﾙｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ

（発行）
ＮＰＯ法人島根ベースボールイノベーション
〒690-0002
島根県松江市大正町 413 番地 3
電話番号：090-8999-7748
メールアドレス：info@sbi2045.com
ホームページ：http://sbi2045.com/

SBI
SHIMANE BASEBALL INNOVATION
NPO 法人　島根ベースボールイノベーション

【２０１７年　主たる行事（活動）予定】
２月：広島県中体連野球力測定会（広島市内）
６月：しまね中学生野球力測定会（出雲ドーム）
　　兼ねて第３期Ｕ１５ＫＷＢ島根県選抜選手選考会
７月～１１月：第３期Ｕ１５ＫＷＢ島根県選抜チーム強化合宿
　　（ＫＷＢ全国大会・西日本大会への参加含む）
通年：コーチングキャラバン（県内）